

ESDが目指す教育とは？

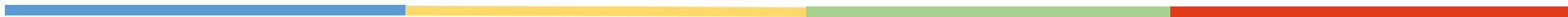
学習指導，学習プログラム作成において

◆2014年11月 文部科学大臣の中央教育審議会への諮問

「ある事柄に関する知識の伝達だけに偏らず，学ぶことと社会とのつながりをより意識した教育を行い，子供たちがそうした教育のプロセスを通じて，基礎的な知識・技能を習得するとともに，実社会や実生活の中でそれらを活用しながら，自ら課題を発見し，その解決に向けて主体的・協働的に探究し，学びの成果等を表現し，更に実践に生かしていけるようにすることが重要である。」

◆2015年5月 教育再生実行会議第7次提言「これからの時代に求められる資質・能力と，それを培う教育，教師の在り方について」

「持続可能な社会の実現が課題となっていることを踏まえ，国，地方公共団体，学校は，体験型・課題解決型の学習を通じて，環境，貧困などの世界規模の課題を自らのこととして捉え，地域活動など身近なところから取り組み，その解決に向けて考え，他者とも力を合わせて行動できる人材を育成するための教育（ESD）を推進する。」



ESDが目指す教育とは？

つながり（システム）
協働的 問題解決

ESDの視点

【ESDの視点に立った学習指導の目標】

教科等の学習活動を進める中で、

「持続可能な社会づくりに関わる課題を見いだし、

それらを解決するために

「必要な能力や態度を身に付ける」ことを通して、

持続可能な社会の形成者として
ふさわしい資質や価値観を養う。

【構成概念】（例）

- I 多様性
- II 相互性
- III 有限性
- IV 公平性
- V 連携性
- VI 責任性 など

【ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度】（例）

- ① 批判的に考える力
- ② 未来像を予測して計画を立てる力
- ③ 多面的、総合的に考える力
- ④ コミュニケーションを行う力
- ⑤ 他者と協力する態度
- ⑥ つながりを尊重する態度
- ⑦ 進んで参加する態度 など

【ESDの視点に立った学習指導を進める上での留意事項】

- ① 教材のつながり
- ② 人のつながり
- ③ 能力・態度のつながり

教科等の授業設計・授業改善

国立教育政策研究所(2012)

ESDの視点に立った学習を進めるに当たって

環境

社会

経済

内容

教材をどのような視点で解釈するとよいか？
子供たちにどのような見方や考え方を養いたいか？

ESD

目標

子供たちにどのような力を身に付けたいか？

方法

学習を進める上で、どのようなことを留意・工夫すべきか？

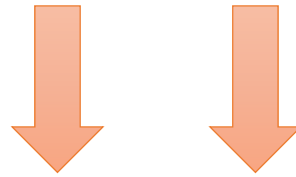
持続可能な社会づくりの構成概念

教材を解釈するための視点



実態概念

いろいろある
関わり合っている
限りがある



システム



規範概念

一人一人大切に
力を合わせて
役割や責任をもって

内容

重視する能力・態度

協働的な問題解決の力



目標

子供たちに
身に付けたい力

方法

3つの「つながり」

- 教材のつながり
教科横断・連携
カリキュラム・マネジメント
ホールスクール・アプローチ
- 人のつながり
合意形成, 協働
アクティブ・ラーニング
地域連携, 国際交流
- 能力・態度のつながり
情意+認知+行動
価値観・行動の変容

↑
生きる力

↑
OECDキー・コンピテンシー

留意・工夫すべき事項

「持続可能な社会づくり」の構成概念（例）

共生, 循環, 相互関連, 多様性, 尊重, 有限性, 限界, 変容, 人権, 権利, 平等, 正義, 非排他性, 公正, 寛容, 相互依存, 共存, 協働, 平和, 意思決定, ...

教材をどのような視点で解釈するとよいか？
子供たちにどのような見方や考え方を養いたいのか？

環境と人間の
両面から捉える

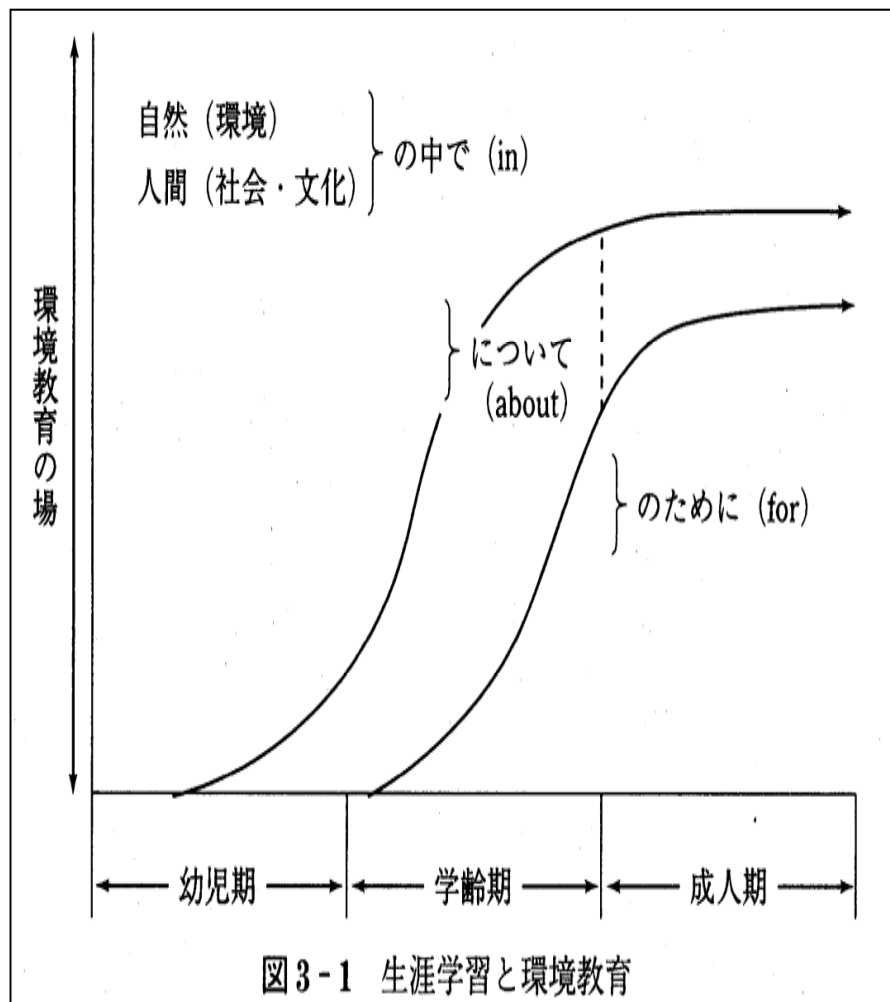
システムとして
多面的に捉える

	多種多様な要素 からなる視点	互いに作用し合 う視点	ある方向へ変化 している視点
実態概念	多様性	相互性	有限性
規範概念	公平性	連携性	責任性

発達段階に合わせた プログラム作成

環境教育の視点 (Lucas,1972)

- *Education in the Environment*
- *Education about the Environment*
- *Education for the Environment*



(阿部治「環境教育の国際的動向」, 1992)

* 「環境から学ぶ」情意的側面

豊かな自然や身近な地域社会の中での様々な体験活動を通して、自然に対する豊かな感受性や環境に対する関心を培う。

* 「環境について学ぶ」認知的側面

環境や自然と人間とのかかわり、環境問題と社会経済システムの在り方や生活様式とのかかわりについて理解を深める。

* 「環境のために学ぶ」行動的側面

環境保全や環境の創造を具体的に実践する態度を身に付ける。